

県内不登校9500人、中退2400人

文部科学省の二〇一六年度の調査によると、全国の不登校生徒数は中学が十万三千人、高校は四万八千人。県内では中学が七千五百人(都道府県別でワースト四位)、高校が二千人(同六位)だった。高校中退者は全国で四万七千人、県内は二千四百人に上った。

不登校になった生徒らは、学校や行政の目が行き届きにくくなるため、社会的孤立につ

支援必要な若者の把握困難

なかりやすいと識者は指摘する。

愛知教育大の大村恵副学長(社会教育)は「子どもの貧困の問題が認知され、義務教育段階の学習支援は各自自治体で充実してきている」と指摘。「一方で、中学を卒業してしまつと、支援を求める若者らの把握は極めて難しくなる。教育と福祉行政が若者らとつながり、支援を届けられる仕組みづくりが必要」と話す。